

いなぎのぞみだより

令和3年10月1日発行



秋が深まってきました。緊急事態宣言が解除になります。長く登園の自粛にご協力くださいましたご家庭に感謝いたします。登園自粛要請期間は中止していましたが幼児組運動会への取り組みを再開する予定です。本来であれば4月から取り組んできた運動遊びを9月からさらに盛り上げ、仲間とともに目標をもって運動会に向かうところですが、今回は2週間という短い期間での取り組みとなります。体を動かすことの楽しさが感じられることを大切にしながら、当日を迎えたいと思います。

今月の予定

19日(火) 避難訓練

26日(火) 幼児組誕生会



※秋の遠足は11月に行います。

11月12日(金) 2歳児・4歳児

(2歳児は給食をお弁当箱に詰めて食べます)

11月19日(金) 3歳児・5歳児

運動会について

10月16日(土) ↑延期17日(↑なら第六小学校体育館)
幼児組のみ、各学年入れ替え制で行います。

感染対策のため、各家庭最大2名までの参加とさせていただきます。(未就学児は人数に含みません。)隣同士の間隔を空けて、座席は指定させていただきます。(くじをひいていただきます。)

集合時間、終了時間は各学年で違います。運動会のお知らせを配付させていただきますので、ご確認ください。

◎運動会に参加しない乳児組で、土曜日保育を利用されている園児は、いつもの土曜日と同じように通常保育を行います。土曜日保育申し込みをしてください。

10月生まれのおともだち紹介

みんな大きくなあれ!



荒馬の実技研修を受けました

いなぎのぞみ保育園では、第四保育園で取り組んでいた「荒馬踊り」を引き継ぐお約束をしています。荒馬は青森県の今別町と大川平の伝統的な踊りですが、その踊りを元に民族歌舞団荒馬座が「荒馬踊り」を創作し、全国で踊られています。

子どもたちと踊る前に、まずは私たちが指導を受けようと思い、9月に2回荒馬座の団員の方に来園していただき、園内研修として指導していただきました。マスクをしながら跳ねるのは苦しくて大変でしたが、基本となる動きを教えていただきながら、その楽しさに夢中になりました。いなぎのぞみ保育園で引き継ぐのは、単純に荒馬踊りを踊るということだけではなく、このワクワクした気持ち、入園してからずっと年長になったら馬をつけて踊ることを憧れてきた思いも引き継ぐことなのだ改めて思いました。

第四保育園の時に比べると園児数が多くなったため、今年度は8馬作り足すことにしました。毎年少しずつ作り足し、修繕しながら大切に長く使わせていただこうと思います。荒馬座の指導も毎年受けたいと思っています。



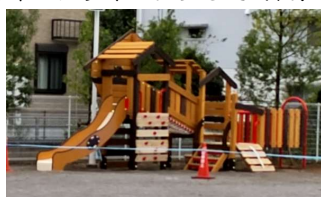
保育参加について

保育参加を見合わせていましたが、10月より希望される方は実施させていただきます。日程その他は、担任にご相談ください。保育の計画がありますので、希望される方はなるべく早めにお知らせください。

園庭に固定遊具が増えました

大きな遊具が増えました。築山に繋がっています。ネットロープや渡り橋など、子どもたちは早々にチャレンジしてくれ、遊んでいます。

設置している時から期待して見ていたので、「もう遊べるよ」という声に喜んでいました。



○10月1日より、保育士が着任いたします。

つくしんぼ組の担任として保育にあたります。